

各地域における青少年育成事業・青少年の活動の様子

真室川町



人と地域と自然が輝く 協働のまちづくり

「真室川町内4駅クリーン作戦」

真室川町青少年育成町民会議では、例年、当町にある4つの駅を中心にした「あいさつ運動」などの街頭指導のほかに、「真室川町内4駅クリーン作戦」を年1回実施しています。



スポーツ少年団の子どもたちや保護者、通学で駅を利用している高校生、青少年育成関係者や防犯協会、婦人会の皆さんや地域住民の方々など、今年は150名もの多くの方にご参加いただき、環境整備活動を行いました。

真室川町内にある真室川駅・釜淵駅・大滝駅・及位駅のそれぞれの駅に午前6時集合、さっそく駅舎や跨線橋、駅周辺の清掃を行い、地域の顔、地域の玄関である4つの駅をきれいにしました。



今後も、大人と子どもが互いに協力し合い、豊かで活力あるまちづくりに貢献する活動をしていきたいと考えています。

鮭川村



「清流」と「きのこ」と心のふる里

鮭川村青少年育成推進委員会の活動

鮭川村青少年育成推進委員会は、現在10名で活動しております。年度当初の推進委員会で具体的な活動計画を協議します。最近は大きな事業を行っていませんが、長年継続している活動として「巡回指導」があります。これは新庄市内の高校生の通学路にあるコンビニ等を巡回して高校生の様子を見て回る活動です。「指導」という言葉を使っておりますが、最近では問題行動も見かけず、出会った高校生へ激励の意味をこめて声をかけております。声をかけられた高校生も笑顔で応答してくれ推進員と高校生で会話が盛り上がることも多くあります。特に村内出身の高校生と会ったときはなおさらです。こうしたコミュニケーションを重視した取組みは、上からの「指導」よりも効果が大きいと感じています。

また、他市町村の青少年育成推進員との交流会を開催し、情報交換と連携を深めています。

青少年と一緒に活動をするにより、コミュニケーションを深めることが最大の目的です。大人と青少年の垣根を除き、お互いを理解することが青少年の健全育成につながると思います。



大蔵村



むら美しく・人いきいき キラリおくら

たくましい心をはぐくんだ自然体験「おくら葉山塾」！

小学生自然体験事業「おくら葉山塾」を実施してから、今年で19年目を迎えました。これは、村に暮らす優れた知恵や技を携えた達人たちの力を借りて、自然体験を通し子どもたちの自然に対する価値観や感性、郷土への愛着心を養い、『生きる力』を育むことを目的としています。

大蔵村では、『おくら葉山塾』を青少年健全育成事業の柱として位置付け、青少年育成推進員が活動の中心的役割を担い、肘折温泉の祓川・銅山川の合流地点で行っています。



今年では11名の参加で、7月29日(金)～31日(日)の実施予定でしたが、30日(土)午後から雷雨となり、警報が発令されましたので、止むを得ず途中で中止いたしました。しかしながら、登山、川遊び、竹箬作り、ネイチャービンゴ、巣箱作りなど出来る限りの体験事業を実施し、バーベキュー、流しそうめんなど食事もしました。今後も大蔵村の青少年育成の重要事業と位置付け、活動内容に創意工夫を凝らしながら、継続して行っていきたいと考えています。

戸沢村



豊かな自然に四季のかおりと 舟唄のこだまする村

共(とも)育(いく)の村とざわを目指して

戸沢村では、「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、学校と家庭、地域が一体となる体制づくりに努めてきました。青少年育成村民会議や総合学習を契機に設立された地域の活動団体を通じ社会力（人と人が繋がり、より良い社会を作る力）を育てること、そして大人も子どもも育つ村としての共育の村を目指してきました。

そこで、第17回を数える青少年健全育成村民フォーラムでは、数年間続いた講演会を子ども達の1年間の活動の成果に触れる機会にしよう、また学校と家庭、地域等で子ども達と繋がるノウハウを提案しようとして開催されました。1部では英語を含む作文や主張、合唱等、またスポーツ・文化活動の表彰を行い、2部では火起こしや竹パン、サバイバル空き缶炊飯（通称サバ飯）等を紹介しました。

作文では、最上川沿いの散歩を通して、四季折々の風や川面の魚、未来に通じる橋の建設等「日常生活での気づきやふるさとを愛する心の育ち」が発表され、更には先生や家族・地域の方々との繋がりが子ども達の育ちを引出し、大人の成長にも繋がる、共育を実感できる場となりました。

結びになりますが、「是非継続した取り組みを」との声が多数寄せられ、青少年育成村民会議を中心に総括・企画の充実に向け取り組んでいます。

